

令和 2 年度

定期監査結果報告書

秘書広報部

教育委員会事務局

松山市監査委員

様

松山市監査委員 原 田 光 雄

同 飯 尾 隆 哉

同 梶 原 時 義

同 向 田 将 央

定期監査結果報告の提出について

地方自治法第 199 条第 1 項、第 2 項及び第 4 項の規定による監査を
松山市監査基準に準拠し実施したので、同条第 9 項の規定により、監
査の結果に関する報告を次のとおり提出します。

目次

定 期 監 査 結 果 報 告		
		1
秘 書 広 報 部	シティプロモーション推進課	3
〃	秘 書 課	3
〃	東 京 事 務 所	4
教 育 委 員 会 局	生 涯 学 習 政 策 課	4
〃	地 域 学 習 振 興 課	4
〃	学 校 教 育 課	6
〃	教 育 研 修 セ ン タ ー 事 務 所	7
〃	学 習 施 設 課	7
〃	文 化 財 課	8
〃	子 規 記 念 博 物 館	9
〃	保 健 体 育 課	9
〃	教 育 支 援 セ ン タ ー 事 務 所	1 0
〃	中 央 図 書 館 事 務 所	1 1

定期監査結果報告

1 監査の対象及び期間

令和2年度歳入歳出予算の執行及び関連ある事項を次の課等について、下記のとおり対象期間及び監査期間をもって実施した。

監 査 対 象	対 象 期 間	監 査 期 間
シティプロモーション推進課	令和2年4月1日から 令和2年10月31日まで	令和2年11月30日から 令和3年1月29日まで
秘書課	〃	〃
東京事務所	〃	〃
生涯学習政策課	〃	〃
地域学習振興課	〃	〃
学校教育課	〃	〃
教育研修センター事務所	〃	〃
学習施設課	〃	〃
文化財課	〃	〃
子規記念博物館	〃	〃
保健体育課	〃	〃
教育支援センター事務所	〃	〃
中央図書館事務所	〃	〃

2 監査の着眼点

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が、法令に適合し、正確に行われ、最少の経費で最大の効果を上げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているかに意を用いた。

主な着眼点は以下のとおりである。

(1) 収入事務

- ・調定は根拠となる法令、契約等に適合しているか。
- ・調定額の算定は適正か。また、調定漏れはないか。
- ・現金取扱いが適正に行われているか。
- ・訪問徴収が適正に行われているか。
- ・債権管理が適正に行われているか。

(2) 支出事務

- ・金額の算定等、支出事務が適正に行われているか。
- ・補助金の支出が適正に行われているか。

(3) 契約事務

- ・業者選定等、契約事務が適正に行われているか。

(4) 委託事務

- ・私人の徴収委託が適正に行われているか。

(5) 財産管理

- ・ 備品及び郵券等の現物は台帳と一致し、適正に管理されているか。
- (6) 課特有の事務
- ・ 薬品は適正に管理されているか。

3 監査の実施内容

各課等に対し関係資料の提出を求め、関係職員から説明を聴取するとともに、前回の指摘事項等が適正に処理されているかについて留意し、必要に応じて現地調査を実施した。
また関連ある事項については対象期間外にわたるものも監査した。

4 監査の結果

次のとおりである。

なお、文中で特に説明のない数値は令和 2 年 10 月 31 日現在のものである。

シティプロモーション推進課

1 収入事務について

(1) 広報広聴費雑入

広報広聴費雑入は、広報まつやま広告掲載料及びホームページ広告掲載料であり 3,236 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

2 市政広報事業の支出事務について

市政広報事業は、広報紙、ホームページ及び点字広報等の広報手段を活用し、市の基本方針や事業等について PR することで、市政についての正しい理解と協力を求めることを目的とした事業である。

(1) 歳出予算の執行状況

市政広報事業の執行額は、68,870 千円となっている。これらのうち報償費 8 件 64 千円、消耗品費 7 件 68 千円、印刷製本費 23 件 41,575 千円、光熱水費 15 件 421 千円、手数料 6 件 16 千円、委託料 2 件 23,401 千円、使用料及び賃借料 3 件 3,068 千円、備品購入費 1 件 82 千円、負担金 1 件 42 千円の支出事務について支出負担行為等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

3 備品の管理状況について

備品の管理状況について抽出調査したところ、次の点が見受けられた。

[指摘事項]

・ 備品の適正管理について

備品の管理状況について確認したところ、備品台帳に記載されている備品のうち現物が確認できない写真用カメラ 1 台が見受けられた。これは、故障のため平成 30 年度に廃棄処分されたとのことであったが、台帳から抹消処理の手続きがされていない状況であった。

今後においては、廃棄後は速やかに処理を行うとともに、毎年度のたな卸しを確実に実施するなど、適正な管理に努められたい。

秘 書 課

1 庁舎管理経費の支出事務について

庁舎管理経費は、公務を円滑に執務するよう推進し、市民サービスの向上を図る事業である。

(1) 歳出予算の執行状況

庁舎管理経費の執行額は、1,195 千円となっている。これらのうち消耗品費 74 件 1,002 千円、食糧費 9 件 18 千円、印刷製本費 1 件 15 千円、手数料 2 件 2 千円、使用料及び賃借料 2 件 154 千円、について支出負担行為等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

2 備品の管理状況について

備品の管理状況について抽出調査したところ、適正に管理されていた。

3 郵券等の管理状況について

郵券等の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

東京事務所

1 東京事務所管理事務の支出事務について

東京事務所管理事務は、中央省庁その他関係機関との連絡折衝、市政推進のための情報収集・調査、企業誘致に関する情報収集等の業務を遂行し、市政の円滑な運用と発展に寄与することを目的とした事業である。

(1) 歳出予算の執行状況

東京事務所管理事務の執行額は、14,054 千円となっている。これらのうち普通旅費 8 件 361 千円、都区内旅費 5 件 24 千円、消耗品費 12 件 289 千円、光熱水費 6 件 42 千円、通信運搬費 4 件 13 千円、手数料 1 件 160 千円、委託料 1 件 108 千円、使用料及び賃借料 6 件 11,713 千円、負担金 2 件 65 千円、需用費等の資金前渡分 1,279 千円の執行状況について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

生涯学習政策課

1 備品の管理状況について

備品の管理状況について抽出調査したところ、適正に管理されていた。

2 郵券の管理状況について

郵券の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

地域学習振興課

1 収入事務について

(1) 小学校管理使用料

小学校管理使用料は、市立小学校開放体育施設（体育館）の夜間照明施設使用料であり 4,173 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を抽出調査したところ、次の点が見受けられた。

[指摘事項]

- ・ 規程に沿った事務の取扱いについて

学校開放体育施設の利用については、教育長に所定の申込書を提出し、あらかじめ許可を得ることとされているが、新型コロナウイルス感染拡大防止により使用予定日が利用停止期間に該当することとなった許可分について、例規等に特に規定がないにもかかわらず使用予定日の変更が行われ、変更を証する書面等も徴されていない状況や、変更予定とされたまま還付金の支払手続等の対応が行われていない状況が見受けられた。施設の利用申込は、利用者が使用年月日等を記載したうえで許可を得ているものであることから、その変更に当たっては、変更を可能とする規程の整備を行うなど、規程に沿った事務の取扱いに努められたい。

[要望事項]

- ・ 学校開放体育施設使用状況報告書の確認について

学校開放体育施設使用状況報告書は、学校施設の開放運営のため設置された管理運営委員会により、教育委員会に毎月提出することとされているが、一部の施設において新型コロナウイルス感染拡大防止による利用停止期間中で利用されていないにもかかわらず、利用された旨の報告がされている状況が見受けられた。

管理運営委員会に適正な報告書の提出を指導するとともに、提出された報告書と申請書の突合による確認等を行い、使用状況の適切な把握に努められたい。

(2) 中学校管理使用料

中学校管理使用料は、市立中学校開放体育施設（体育館・柔剣道場・トレーニングルーム）の夜間照明施設使用料であり 3,628 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を抽出調査したところ、次の点が見受けられた。

[要望事項]

- ① 学校開放体育施設使用状況報告書の確認について

学校開放体育施設使用状況報告書は、学校施設の開放運営のため設置された管理運営委員会により、教育委員会に毎月提出することとされているが、一部の施設において新型コロナウイルス感染拡大防止による利用停止期間中で利用されていないにもかかわらず、利用された旨の報告がされている状況が見受けられた。

管理運営委員会に適正な報告書の提出を指導するとともに、提出された報告書と申請書の突合による確認等を行い、使用状況の適切な把握に努められたい。

- ② 還付金の適正な支払事務について

当該使用料は前納であるため、新型コロナウイルス感染拡大により利用停止とされた使用予定日に係る既納の使用料については、過納金であるため還付金として遅滞なく納入者に支払うべきものと思料する。しかしながら、納入者から還付金不要との申出があったことを理由とし未だ支払手続が行われていない状況が見受けられた。これは、過誤納金に係る還付金の支払方法が特に定められていないことなどが理由と考えられるため、取扱いを定めることなどにより還付金の適正な支払事務に努められたい。

(3) 公民館使用料

公民館使用料は、公民館会議室等の使用料であり 13,479 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

(4) 公民館費雑入

公民館費雑入は、味生ふれあいセンター外の光熱水費等であり 2,691 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を調査したところ、次の点が見受けられた。

[指摘事項]

- ・自動販売機販売手数料徴収に係る適正な契約について

自動販売機販売手数料は、契約により売上金額に一定の割合を乗じることにより算出することとされているが、契約書に定める割合と異なる数値で算出され徴収されている状況が見受けられた。契約書との整合を図り適正な事務処理に努められたい。

2 公民館笑顔あふれる絆づくり推進事業の支出事務について

公民館笑顔あふれる絆づくり推進事業は、住民自らが行う地域にある素材や特性を活かす活動を支援することにより、地域住民の絆を深め、人と人がつながり支え合う社会の構築を目的とした事業である。

(1) 歳出予算の執行状況

公民館笑顔あふれる絆づくり推進事業の執行額は、30,792 千円となっている。これらのうち委託料 1 件 485 千円、補助金 1 件 30,301 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

3 郵券等の管理状況について

郵券等の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

学 校 教 育 課

1 収入事務について

(1) 事務局費貸付金元利収入

事務局費貸付金元利収入は、奨学資金の返還金であり 125,097 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

2 奨学資金貸付事業の支出事務について

奨学資金貸付事業は、経済的事情により大学への修学が困難な、学業成績が優秀な方に対して学業に必要な資金を貸し付けることにより、有用な人材を育成することを目的とする事業である。

(1) 歳出予算の執行状況

奨学資金貸付事業の執行額は、206,931 千円となっている。これらのうち委員報酬 1 件 50 千円、委託料 1 件 407 千円、貸付金 2 件 66,470 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

3 郵券の管理状況について

郵券の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

教育研修センター事務所

1 収入事務について

(1) 教育研修センター費雑入

教育研修センター費雑入は、「ふるさと松山学」教材頒布代金等であり 2,306 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

2 松山市教育研修センター運営事業の支出事務について

松山市教育研修センター運営事業は、センター施設の整備及び管理運営を行うとともに、教職員研修及び教育研究等による「学び続ける教員」の確立を目指し、自ら学ぶ機会などの提供により、本市学校教育の質の向上を図ることを目的とした事業である。

(1) 歳出予算の執行状況

松山市教育研修センター運営事業の執行額は、10,190 千円となっている。これらのうち報償費 1 件 42 千円、普通旅費 1 件 1 千円、消耗品費 74 件 1,284 千円、燃料費 9 件 40 千円、修繕料 2 件 50 千円、通信運搬費 13 件 456 千円、手数料 7 件 27 千円、委託料 5 件 3,624 千円、使用料及び賃借料 1 件 30 千円、負担金 1 件 5 千円、補助金 1 件 1,671 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

3 薬品の管理状況について

薬品の管理状況について抽出調査したところ、適正に管理されていた。

4 備品の管理状況について

備品の管理状況について抽出調査したところ、適正に管理されていた。

5 郵券等の管理状況について

郵券等の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

学 習 施 設 課

1 収入事務について

(1) 社会教育施設費寄附金

社会教育施設費寄附金は、公民館分館の整備に伴う地元寄附金であり 4,648 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

(2) 小学校管理費雑入

小学校管理費雑入は、児童クラブの電気料金等であり 9,925 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

(3) 中学校管理費雑入

中学校管理費雑入は、中学校太陽光発電システムの売電収入等であり 1,611 千円となっている。

これらの収入事務について調定書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

2 小学校施設維持管理事業の支出事務について

小学校施設維持管理事業は、施設の法定点検、営繕工事、光熱水費、電話料金の支払い、物品修理等施設の維持管理を目的とした事業である。

(1) 歳出予算の執行状況

小学校施設維持管理事業の執行額は、538,990 千円となっている。これらのうち消耗品費 16 件 167 千円、修繕料 7 件 254 千円、通信運搬費 4 件 224 千円、手数料 3 件 9,075 千円、委託料 5 件 77,819 千円、使用料及び賃借料 1 件 23,296 千円、工事請負費 5 件 59,647 千円、原材料費 8 件 396 千円、負担金 5 件 26 千円の支出事務について支出負担行為等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

3 備品の管理状況について

備品の管理状況について抽出調査したところ、適正に管理されていた。

文 化 財 課

1 収入事務について

(1) 文化財保護費雑入

文化財保護費雑入は、出版物の売上等であり 64 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

2 埋蔵文化財センター管理・教育普及事業の支出事務について

埋蔵文化財センター管理・教育普及事業は、展示や講演会等の教育普及活動を実施し、市民の地域学習等における埋蔵文化財の活用を図るほか、施設の有効的な活用を行うことを目的とした事業である。

(1) 歳出予算の執行状況

埋蔵文化財センター管理・教育普及事業の執行額は、197,314 千円となっている。委託料 2 件 197,314 千円の支出事務について支出負担行為等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

3 備品の管理状況について

備品の管理状況について抽出調査したところ、適正に管理されていた。

4 郵券等の管理状況について

郵券等の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

子規記念博物館

1 収入事務について

(1) 子規記念博物館費雑入

子規記念博物館費雑入は、全国俳句大会の投句料等であり 3,364 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を抽出調査したところ、次の点が見受けられた。

[指摘事項]

- ・投句料等の徴収について

子規顕彰全国俳句大会及び子規顕彰全国短歌大会（以下「大会」という。）について、松山市立子規記念博物館指定管理者管理運営業務仕様書では、大会の企画・実施を指定管理者が行う必須事業としており、その業務には投句料及び出詠料（以下「投句料等」という。）の収受が含まれているため、指定管理者が投句料等の徴収事務を行っている状況が見受けられた。

地方自治法施行令第 158 条において私人に徴収等を委託できる歳入は限定されており、投句料等については該当しないため、今後においては担当課が徴収事務を行い、適正な事務処理に努められたい。

2 博物館施設管理運営事業の支出事務について

博物館施設管理運営事業は、博物館の運営及び施設管理業務に指定管理者制度を活用し、民間のノウハウを活かした多様なサービスを取り入れ、博物館の活性化を図るとともに、施設の安全性の維持や利便性等の向上に努めることを目的とする事業である。

(1) 歳出予算の執行状況

博物館施設管理運営事業の執行額は、154,566 千円となっている。これらのうち報償費 3 件 300 千円、委託料 3 件 143,261 千円、使用料及び賃借料 6 件 74 千円、負担金 5 件 7,068 千円、補助金 3 件 650 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

3 備品の管理状況について

備品の管理状況について抽出調査したところ、適正に管理されていた。

4 郵券等の管理状況について

郵券等の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

保 健 体 育 課

1 収入事務について

(1) 保健体育総務費負担金

保健体育総務費負担金は、日本スポーツ振興センター災害共済掛金にかかる保護者負担金であり 14,899 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

(2) 学校給食費雑入

学校給食費雑入は、学校給食共同調理場廃油売払代金、自動販売機電気料金等であり 727 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を調査したところ、次の点が見受けられた。

[指摘事項]

- ・自動販売機販売手数料の年度区分誤りについて

自動販売機販売手数料の収入について確認したところ、平成 30 年度の定期監査で年度区分誤りの指摘を受けて一旦は改善されていたものの、契約において納期が翌月末に規定されている令和 2 年 3 月分の販売手数料が、令和元年度の収入として区分されている状況が見受けられた。

今後は、処理誤りを防ぐためにマニュアルを整備するなど、適正な事務処理に努められたい。

2 学校保健・健康管理事業の支出事務について

学校保健・健康管理事業は、学校保健安全法に基づき、各市立小中学校の学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱して報酬を支払うとともに、各種健康診断等を実施することで児童生徒並びに教職員の健康保持及び増進を図る事業である。

(1) 歳出予算の執行状況

学校保健・健康管理事業の執行額は、79,529 千円となっている。特別職報酬 1 件 26,204 千円、消耗品費 2 件 43 千円、通信運搬費 3 件 545 千円、委託料 5 件 51,389 千円、使用料及び賃借料 8 件 522 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

3 郵券等の管理状況について

郵券等の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

教育支援センター事務所

1 収入事務について

(1) 青少年センター費雑入

青少年センター費雑入は、青少年センターに設置している自動販売機販売手数料等であり 521 千円となっている。これらの収入事務について調定書等関係書類を調査したところ、適正に処理されていた。

2 不登校対策総合推進事業の支出事務について

不登校対策総合推進事業は、不登校児童生徒への早期対応を図るため、電話や来所、家庭訪問等の相談対応や、小集団での学習・スポーツ・体験活動等を通して学校復帰を目指す適応指導教室の運営を実施している。また、引きこもり傾向の児童生徒に対しては、IT を活用した学習支援や対面指導等を展開するなど、不登校の児童生徒やその保護者に寄り添った支援を「子ども総合相談センター」と連携し、積極的に取り組む事業である。

(1) 歳出予算の執行状況

不登校対策総合推進事業の執行額は、29,255 千円となっている。これらのうち報償費 7 件 89 千円、消耗品費 21 件 43 千円、通信運搬費 1 件 10 千円、使用料及び賃借料 2 件 755 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

3 郵券等の管理状況について

郵券等の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

中央図書館事務所

1 図書館運営事業の支出事務について

図書館運営事業は、不特定多数の市民が利用する施設である図書館の柔軟で効率的な管理運営と施設の保全に努め、市民に親しまれ信頼される施設として図書館機能を発揮することを目的とする事業である。

(1) 歳出予算の執行状況

図書館運営事業の執行額は、190,295 千円となっている。これらのうち消耗品費 66 件 1,971 千円、燃料費 10 件 370 千円、光熱水費 16 件 3,365 千円、修繕料 7 件 164 千円、委託料 10 件 156,991 千円、使用料及び賃借料 5 件 11,792 千円、工事請負費 5 件 1,894 千円、負担金 4 件 150 千円の支出事務について支出負担行為書等関係書類を抽出調査したところ、適正に処理されていた。

2 郵券等の管理状況について

郵券等の管理状況について受払簿と在庫数等を調査したところ、適正に管理されていた。

